

Grating Spectroradiometer



太陽電池などの評価に使用される人工光源（ソーラーシミュレーター）の分光放射強度を測定するための低価格の分光放射計です。

NIST標準光源にて校正されており、小型・軽量でご使用方法も簡単です。

仕様	
測定波長範囲	350～1100 nm (キセノンランプ) 350～1050 nm (キセノン以外の光源)
波長間隔	3.3 nm
波長分解能(半値幅)	10 nm
波長精度	< 0.3 nm
開口角(全角)	30°
迷光	0.15 %
測定時間	自動調整
通信	RS232C
ソフトウェア	Windows対応専用ソフトウェア LS100.exe:測定用 LSMAN.exe:解析用 スペクトル合致度(JIS C8912-1989)算出機能付き
出力表示	mW/cm ² /nm
電源	DC12V、0.8A
サイズ・重量	W 50 x D 250 x H 150 mm 約1.8kg

使用方法

LS-100とWindowsパソコンをRS232Cで接続し、専用ソフトを用いてデータを収録します。

測定データは、測定ソフトおよび解析ソフトを用いてエアマス1.5Gの基準太陽光との比較、任意波長間の放射強度の積分放射照度、JIS C 8912スペクトル合致度の計算、基準データとの差、比の演算などができます。

